



校長室だより

2021年11月12日
こさき こうじ
校長 小崎 功二



「心配しないで！」

まだ娘たちが幼かった頃、親として娘と接するときにはいつも、心の中にこの言葉がありました。幼い頃の娘たちにとって、私の存在は頼もしく感じられたことでしょう。大きくて頼りになり、決して自分たちを裏切らない、心から安心できる存在であったでしょうし、私自身、親として子供を守ろうとする本能的なものや、子供がかわいいと思う煩悩的なものもあり、その信頼に応え、子供たちに安心感を与えようと努力していたことを思い出します。

もちろん、ただ甘やかすだけではいけません、親に守られているという大きな安心感があって初めて、幼い子供たちは、家庭以外の学校や社会での活動や訓練に前向きに臨むことができ、落ち着いて自分自身を見つめながら、巣立ちに向けた準備をすることができるのだと思います。

その頃は、思いっきり走ってきて飛びついてきたり、私が出した料理を疑いもなく夢中で食べたり等々、娘たちは私に対して全幅の信頼をおいていました。行動や言動に対しては、親として、躰としての厳しさを見せることもありましたが、それも娘を大切に思う気持ちからであり、厳しさもまた信頼や安心感に繋がっていたと思います。

一緒にご飯を食べ、一緒にお風呂に入り、一緒に寝る。休みの日はどこに行くのも一緒。そんな中でいつも、「心配しないで」と心の中で唱え、責任と生き甲斐を感じながらの日々でした。

学校は、保護者の皆様それぞれの親としての愛情には及びませんし、もちろん質の違うものではありますが、教員としても、まだまだ幼い小学生の子供たちには「心配しないで」という気持ちで接したいと思っています。子供たちを、心から安心して過ごしているであろうそれぞれのご家庭から毎日お預かりしている責任を重く受け止め、安心して過ごし、元気に帰宅でき、また行こう！と思えるような学校を目指して努力いたします。

先日娘に、「お父さんって、こんなに小さかったっけ？」と言われました。私が小さくなったわけではなく、娘が大きくなっただけなのですが・・・最近、健康のこと等、娘が私（や妻）の「心配」をすることも多くなりました。もう「心配しないで」という時期は終わったのだと、改めて感じています。

私はすっかり年をとり、娘たちは大人になりました。時々、娘たちが幼かった頃の写真やビデオを見ては、目を細めています。元気なうちに、早く孫の顔が見たいと思う今日この頃です。

..... 切り取り線

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2021年11月12日（ ）年（ ）組 児童氏名

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。